

各 位

会 社 名 三菱倉庫株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 尚 志
 問 合 せ 先 経理部長 瀬 川 雅 晶
 電 話 番 号 03 - 3278 - 6611
 (コード番号9301) 東証第1部、大証第1部

名古屋地区における倉庫用土地建物等の譲渡及び代替用地の購入
 並びに業績予想の修正に関するお知らせ

今般、当社の子会社である名古屋地区における倉庫用土地建物等の譲渡及び代替用地の購入が決定し、倉庫用土地建物等の譲渡による特別利益の発生に伴い昨年10月31日に発表した当平成19年3月期(平成18年4月1日~平成19年3月31日)の業績予想を修正いたしますので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 名古屋地区における倉庫用土地建物等の譲渡及び代替用地の購入

(1) 理由

今般、当社の主要取引先である三菱重工業株式会社から同社事業所に隣接する当社大江倉庫の土地建物等を購入したいとの要請を受け、名古屋地区において当社海上コンテナ取扱施設が数カ所に分散していることもあり、同地区全体の倉庫・港運事業再編の見地から対応につき検討の結果、大江倉庫の土地建物等を譲渡すると共に飛島地区に相当規模の代替用地を購入し、同用地に新倉庫の建設及び海上コンテナ取扱施設の集約を行うこととしたものであります。

(2) 倉庫用土地建物等の譲渡

所在地 名古屋市港区大江町7番地
 譲渡資産 土地(面積約29,000㎡)・建物(倉庫6棟[延床面積約26,800㎡]他)等
 帳簿価額 土地・建物等合計で約390百万円
 譲渡価額 土地・建物等合計で3,300百万円(他に貨物移転補償等として300百万円を収受)
 譲 渡 先 三菱重工業株式会社
 契約締結日 平成19年1月31日
 なお、引渡後飛島地区における新倉庫稼働までの間、当社が賃借使用する。

(3) 代替用地の購入と利用計画

イ. 代替用地の購入

所在地 愛知県海部郡飛島村木場2丁目
 購入資産 土地(面積約53,700㎡)
 購入価額 2,680百万円
 購 入 先 名古屋港管理組合
 契約締結日 平成19年1月31日
 他に公共排水管が埋設されている隣接地(約2,500㎡)を名古屋港管理組合から賃借利用する。

ロ. 利用計画

(イ) 賃借用地を合わせた全体の約半分を倉庫用地とし現大江倉庫と同規模の新倉庫を建設し、残り約半分を海上コンテナ取扱施設として利用する。

(ロ) 新倉庫建設

構 造 鉄筋コンクリート造5階建
 延床面積 約27,400㎡
 施設の特長 免震構造、全床防塵、定温倉庫(約7,000㎡)・くん蒸庫(約400㎡)設置
 設計施工費 未定
 施工期間 平成19年8月(着工)~平成20年8月(竣工)の予定
 取扱貨物 現大江倉庫の取扱貨物を中心に編成

(ハ) 海上コンテナ取扱施設整備

舗装等施工費 未定
 施工期間 平成19年5月(着工)~平成19年9月(竣工)の予定
 取扱貨物 現在数カ所に分散して取り扱っている海上コンテナを集約

(4) 損益及び資金計画に及ぼす影響

イ. 損益面においては、当期に大江地区倉庫用土地建物等の譲渡による特別利益が発生するため、昨年10月31日に発表した当平成19年3月期の業績予想を修正いたします。(次項参照)

ロ. 資金面においては、飛島地区代替用地購入資金は大江地区倉庫用土地建物等の譲渡資金により賄い、また飛島地区新倉庫建設等資金は先に発表した中期経営計画(平成18年度~平成22年度)に見込んでいた設備投資資金により賄うこととなるため、大きな影響はありません。

2. 当期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の業績予想の修正

(1) 修正理由

当期の業績は概ね昨年10月31日に発表した業績予想に沿って進捗しておりますが、今般当社
の名古屋/大江地区倉庫用土地建物等の譲渡により固定資産処分益(約2,910百万円)が発生し、
これを当期(第4四半期)の特別利益として計上するのに伴い、連結及び個別業績において当期
純利益が増加するためであります。

(2) 修正内容

イ. 連結業績

(金額単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	187,500	14,500	15,400	11,600
今回修正予想(B)	187,500	14,500	15,400	13,300
増減額(B-A)	-	-	-	1,700
増減率(%)	-	-	-	14.7
《参考》前期実績 (平成18年3月期)	166,538	11,077	11,948	7,737

ロ. 個別業績

(金額単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	162,000	13,600	14,400	11,000
今回修正予想(B)	162,000	13,600	14,400	12,700
増減額(B-A)	-	-	-	1,700
増減率(%)	-	-	-	15.5
《参考》前期実績 (平成18年3月期)	144,006	10,396	11,375	7,101

(注) 連結及び個別業績において当期純利益が前期実績を大幅に上回るのは、次の要因による。

営業損益において、物流事業で貨物取扱の増加等により利益が増加し、また不動産事業で下
半期(第4四半期)に横浜地区における大型分譲マンションの販売により利益が大幅増加。

特別損益において、上半期(第2四半期)に神戸の賃貸用商業施設での主要テナント解約等
に伴う施設解約補償金(4,460百万円)を特別利益として計上し、また下半期(第4四半期)
に本件の固定資産処分益(約2,910百万円)を特別利益として計上予定。

(3) なお、当期の配当金(期末配当金は「1株につき創立120周年記念配当2円を含む7円」とし、
中間配当金「1株につき5円」を加えた年間配当金は前期に比べ2円増額の「1株につき12円」
の予定)については、変更ありません。

以上